

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成21年 9月30日(水) 5校時
対 象 男15名 女10名 計25名
指導者 木村典子

- 1 単元名 くらべてよもう (光村図書 上)
主教材名 「じどう車くらべ」 (説明文)
補助教材名 「はたらく じどう車」 (教育出版 下)

2 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに、一年上「いろいろななくちばし」で、初めての説明文を学習し、説明されている事柄の大体を読み取ることを学ぶとともに、説明文の基本的なパターンである「問い→答え」の文型を学んだ。

読む力については、音読練習を積み重ねることにより、拾い読みから言葉や文としてのまとまりを意識した読みになりつつある。また、キーワードや文末表現などに着目して、サイドラインを引く学習により、おおまかに内容を読み取ることもできるようになってきた。

学習態度については、全体的に発表意欲があり自分の考えを積極的に述べようとする児童が多いが、集中力にやや欠け、最後までしっかりと話を聞くことができない児童もいる。ハンドサインなど学習のきまりについては5月から取り組み、自分の考えと友達のを比べて聞くようにしている。

4月に行った「国語についてのアンケート」では、「読書が好き」と答えている児童が多い。

(2) 教材について

小学校学習指導要領国語科第1学年及び第2学年の「読むこと」における目標は「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。

主教材「じどう車くらべ」は、題材に「自動車」を取り上げ、自動車の「しごと」と「つくり」という二つの事柄の因果関係を「話題・問題提起→問題に対する説明」という形で述べている。

絵と文章で構成された本教材は、説明的文章を読んで情報を読み取ることの楽しさや、基本文型に慣れつつ、内容を理解する力を育てることができる。また、「しごと」と「つくり」に着目して読むというように、読みのねらいを明確にして読むという学習活動は、文学的な文章の解釈でも生かすことができると考える。

したがって、この時期の児童は身近な自動車について興味・関心をもっていると考えられるので、この教材の学習を通して楽しい説明文の読みを体得すると同時に、確かな言語能力を身に付けることができると考える。

補助教材の「はたらく じどう車」は、主教材と類似した「しごと」と「つくり」で構成されている。基本文型の学習を繰り返すことにより、説明文の構成や言葉の使い方に慣れさせ「読む力」を高める指導に適した教材と考える。

(3) つけたい力と読みの方法 【つけたい力】 ○ 読みの方法

【書かれている事柄のおおよそをとらえる力】

○ 問いの文と答えの文を見つけ、関連づけて読む。

「どんなしごとをしていますか。」の問いに対しては、「○○のしごとをしています。」というキーワードに着目させる。また、「どんなつくりになっていますか。」の問いに対しては、「そのために」という言葉に着目させ、「しごと」と関連づけながら「つくり」を読み取らせる。

○ 絵や写真と文章を照応して読む。

教科書の挿絵や掛け図の絵と対応させたり、具体物や半具体物・動作化を取り入れたりしながら書かれている内容を理解させる。

【読書に興味を持ち、楽しんで読む力】

○ 自分の読みたい本を探して読む。

自動車図鑑を作りたいという意欲と目的意識を持たせ、自分で関連図書を探して読ませる。また、内容面・冊数面で児童の要望に応えられる読書環境を整える。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	◎ 自動車の仕事とつくりに興味をもち、本や図鑑を読もうとする。	・未知の自動車の仕事とつくりに興味をもち、本や図鑑を読んだり調べたりしている。
書く能力	◎ 簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事とつくりを説明する文を書くことができる。 ＜書くこと イ＞	・主教材や補助教材を参考にして、自動車の仕事とつくりを区別して、説明する文を書いている。
読む能力	◎ それぞれの自動車について、仕事とつくりの関係を考えながら内容の大体を読むことができる。 ＜読むこと イ＞ ○ 語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読むことができる。 ＜読むこと ア＞ ○ 乗り物の本などに興味をもち、探して読むことができる。＜言語活動例 ウ＞	・自動車の仕事とつくりを区別し仕事と関連づけながらつくりについて読み取っている。 ・語や文のまとまりを意識し、声に出して正確に読んでいる。 ・乗り物の本など関連した本を選んで読んでいる
言語についての 知識・理解・技能	○ 片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。＜言語事項ウ（ア）＞	・車の名前などの片仮名を正しく読んだり書いたりしている。

4 単元の指導計画と評価規準（9時間扱い）

段階	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
見 通 す	1	○学習の見通しを持つ。 ・知っている自動車の名前を挙げ、どんな自動車があるか話し合う。	挿絵をきっかけとして、知っている自動車の名前を発表している。（発言）		関連した本を選んで読んでいる。 (観察)	

見通す	<ul style="list-style-type: none"> 単元を通して関連図書の並行読書を行う。 					
2	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画を立てる。 おおまかな文章構成と問いの文をつかむ。 新出漢字と片仮名を練習する。 				新出漢字と片仮名を読んだり書いたりしている。(ノート)	
深める	3	<ul style="list-style-type: none"> 主教材を読み深める。 	自動車の「しごと」と「つくり」に興味をもって読んでいる。(観察)		バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を区別して読み取っている。(発言・学習プリント)	車の名前を片仮名で読んだり書いたりしている。(音読・学習プリント)
	4	トラックの「しごと」と「つくり」について読み取る。			トラックの「しごと」と「つくり」を区別して読み取っている。(発言・学習プリント)	
	5	クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取る。			クレーン車の「しごと」と「つくり」を区別して読み取っている。(発言・学習プリント)	
まとめ	6	<ul style="list-style-type: none"> 補助教材を読む。 			コンクリートミキサー車とショベルカーの「しごと」と「つくり」を区別して読み取っている。(発言・学習プリント)	
広める	7	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を参考にして説明文を書く。 		既習内容と挿絵をもとに「はしご車」の「しごと」と「つくり」を書いている。(観察・学習プリント)		
	8	<ul style="list-style-type: none"> 自動車図鑑を作る。 	関連した本を読み、プリントにまとめ、自分の図鑑作りをしている。(観察)	好きな自動車の「しごと」と「つくり」を書いている。(学習プリント)	本の内容を「しごと」と「つくり」の観点で読み取っている。(学習プリント)	
9	<ul style="list-style-type: none"> 乗り物の本を読み、好きな自動車を選んで「しごと」と「つくり」を読み取り、プリントに書いて自動車図鑑を作る。 					

5 本時の指導

(1) 目標

絵と文を対応させて、クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

(2) 評価の観点と具体の評価規準

観点・具体の評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 支援を要する児童への手立て
読む能力	絵と文を対応させながら、クレーン車の「しごと」と「つくり」の関係を考えて読み取っている。 (発言・学習プリント)	絵と文を対応させながら、クレーン車の「しごと」と「つくり」を区別して読み取っている。 (発言・学習プリント)	文末表現やつなぎ言葉をもとに、「しごと」と「つくり」を区別させる。

(3) 展開

段階	学 習 活 動 ○発問 ・期待する児童の反応	教師の関わり方 ・留意事項 ◎評価
見 通 す 5 分	1 前時の学習を想起する。(トラック) 2 学習課題を確認する クレーン車の「しごと」と「つくり」をよみとろう。 3 読みの視点を確認する。 ・「しごと」と「つくり」	・トラックの「しごと」と「つくり」を確かめる。 ・各自動車の学習の共通課題とする。 ・各自動車共通の読みの視点とする。
深 め る	4 学習場面を音読する ・各自「クレーン車」の文章を2回読む。 ・一斉読 ・指名読 5 課題に対して自分の考えをもつ。 (1) クレーン車の「しごと」を読み取る。 ○クレーン車の「しごと」は何でしょう。 ・指名読2名(⑧段落) ・サイドラインを引く(しごと～赤) ・「しごと」を発表する。 ・「おもいもの」「つりあげる」について理解を深める。 (2) クレーン車の「つくり」を読み取る。 ○クレーン車は重い物をつりあげるためにどんな「つくり」になっていますか。	・本時の学習場面を確認する。 ◎語や文のまとまりを考えながらすらすら読むことができる。(音読) ・既習内容を生かして、文末表現や「しごと」というキーワードに着目させる。 ◎答えの文をとらえることができる。(発言・サイドライン) ・拡大した教材文にサイドラインを引き「しごと」を確認する。 ・教科書や黒板の掛け図で「おもいもの」を確かめる。 ・半具体物や動作化により「つりあげる」を理解させる。 ・既習内容を生かして、文末表現や「そのために」というキーワードに着目させる。

<p>深 め る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指名読2名(⑨段落) ・サイドラインを引く(つくり～青) ・「つくり」を発表する。 	<p>◎答えの文をとらえることができる。 (発言・サイドライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡大した教材文にサイドラインを引き「つくり」を確認する。 ・教科書や黒板の掛け図で「じょうぶな」「のびたりうごいたり」を確かめる。 ・半具体物や動作化により「車たいがかたむかないように」「しっかりしたあし」を理解させる。
<p>35 分</p>	<p>(3)「しごと」と「つくり」の関係を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○クレーン車のすごいところはどんなことですか。 ○どうして腕が伸びたり動いたりするのでしょうか。 ○丈夫な腕でないと困ることは、何ですか。 ○しっかりした足がついているのは、なぜでしょう。 <p>6 読み取ったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自、学習プリントに「しごと」と「つくり」を書く。 *まとめの例 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>しごと～おもいものをつりあげる。 つくり～じょうぶなうでがのびたり、うごいたりする。 しっかりしたあしがついている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取ったことをもとに「クレーン車の自慢」を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「そのために」に着目させ、「しごと」と「つくり」を関連づけながら考えさせる。 ◎「しごと」と「つくり」の関係を読み取ることができる。(発言) ・「じょうぶな」と「しっかりした」の意味をクレーン車の「しごと(重いものをつり上げる)」に関連づけて考えさせる。 ◎「しごと」と「つくり」を区別して書くことができる。(学習プリント) ・拡大した学習プリントに書き、確かめる。 ・重い物をつり上げる仕事をするために、工夫してあることを自慢できるようにする。
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>7 まとめの音読をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返りながら、一斉読をする。 <p>8 今日の学習について振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今日の勉強の感想を発表しましょう。 <p>9 次時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あしたは、コンクリートミキサー車とショベルカーの「しごと」と「つくり」について調べます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」と「つくり」の大事なことばを意識させながら読ませる。 ・2～3名に発表させ、自動車のつくりのよさについて確かめ合う。

(4) 板書計画

<p>掛け図</p>	<p>しっかりとしたあしがっている</p>
<p>拡大ワークシート</p>	<p>じょうぶなうでが のびたりうごいたりする</p>
	<p>つくり</p>
	<p>おもいものをつりあげる</p>
	<p>しごと</p>
	<p>じどう車くらべ クレーン車のしごととつくりをよみとろう</p>

